

きらめき

発行
東北情報インフラユニオン
仙台市若林区新寺一丁目2番7号
TEL:022-297-5196
FAX:022-297-5198
発行責任者:村上 良智
編集責任者:齊藤 慎也

通建連合『一斉安全休工日（6月）』 実施結果について

通建連合「一斉安全休工日」の取り組みについては、組合員は勿論のこと現場第一線で働く労働者の心と体の健康管理は基より、リフレッシュを図り安全労働を確保する観点から6月・7月・9月・11月の第2土曜日を設定し、各職場における安全衛生委員会等の場での協力要請の他、ポスター掲示等による啓蒙活動を実施させて頂きました。

今年度1回目となる6月10日（土）の実施結果は、下表のとおりとなります。

TTKグループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）
6月	業務区分割合	123	94 (76.4%)	28 (22.8%)	1 (0.8%)	99.2%
	人数割合	2526	2425 (96.0%)	100 (3.9%)	1 (0.1%)	99.9%
大和グループ		休工対象数	当日実施	読替実施	未実施	実施結果（読替含む）
6月	業務区分割合	58	26 (44.8%)	32 (55.2%)	0 (0%)	100%
	人数割合	1056	954 (90.3%)	102 (9.7%)	0 (0%)	100%

6月については「客先指定」といった理由により一部の事業所において未実施となる結果となりましたが、人数割合に見る当日実施（第2土曜日）の割合は総じて高い割合となりました。皆様の取り組みへのご協力に感謝を申し上げます。

一方で第2土曜日当日での一斉休工ができず、当月内土曜日での読替実施となった方々は全体で202名おり、読替実施となった理由としては以下の項目が多くなっております。

- 「業務繁忙（40%）」
- 「保守・保全・設備運営（32%）」
- 「客先指定（12%）」

昨年度から引き続き、読替実施となった理由の多くは「業務繁忙」となっており、職場の体制整備を含めた皆が休める職場環境作りが必要であると判断します。今後も当日実施の割合向上に向けて取り組みを継続していきたいと考えますのでご協力をお願いします。

魅力あふれる産業へ 実現しよう週休2日



情報労連 「労働安全衛生強化月間」 取り組み結果について

情報労連は、厚生労働省が実施する令和5年度「全国安全週間(2023年7月1~7日)」に先駆け、6月を情報労連「労働安全衛生強化月間」に設定し、安全に対する意識の醸成や安全労働の徹底を目的に取り組みを展開することとしました。

インフラ東北としても、昨年度東北管内において事故が断続的に発生した現状を重く受け止め、安全意識の向上に向けた取り組みとして朝礼等の場において情報労連作成の安全啓蒙グッズを手渡ししながら安全労働に向けた注意喚起を実施するとともに、現場第一線の方々との対話を重視した労使合同のパトロールを実施してきました。

今後は、現場での対話において皆様から頂いた意見をもとに各事業所の安全衛生委員会等の場で改善に向けた労使議論を行い、より良い職場環境の実現に向けて取り組みを行っていくこととします。

なお、パトロール等の模様は以下の通りです。

安全啓蒙グッズ



<パトロール等実施模様>



<対話内容(抜粋)>

Q. 各種安全施策についてどのように感じていますか(施策数や内容、改善してほしい点について)

- 安全に対する施策なので重要だと思うが、施策が多くて大変である
- 年々安全対策が増えているように思うが、作業従事者の安全の為には仕方がないと感じている
- 常にどのような危険があるかわからないので、今後も施策が増えるようであれば順次対応して安全作業に努めたい
- 狭隘道路や急勾配での作業となると準備不足になる恐れがあるため、設計図面で注意喚起できることはしっかり示してもらいたい
- 事故が起こる度に施策が増えるが、事故が起こる前に取れる対策もあるのではないかと感じる
- 安全の為に分かってはいるが、車内でも現場でもカメラで見張られているように感じる

Q. 現場での課題や問題、困りごとはありますか

- 伐採等の他工程の手配不備により、現場に行っても施工ができずに手戻りになることがある
- 施工班の高齢化が問題となっており、次世代に繋げることが難しくなっている
- 工法書をファイリングして持ち歩いているが、ページ数が多く項目を探すのが大変であり電子化も検討してほしい
- 遠隔地へ行く時は朝礼に参加できない場合もあるが、その際の施工班への周知・フォローが十分ではないと感じる
- 狭隘道路の現場では、作業車を停めるスペースなども事前に元請で検討してほしい

全国的に不安定な天候が続き、これまでにないほどの局地的な大雨等も観測されており各地で甚大な被害をもたらしています。現場作業にあたっては基本動作の徹底と作業環境にあった安全対策を心掛け、決して無理をすることなく場合によっては作業を中止し安全確保をお願いします。そして個人が「自分の職場からは事故は発生させない」との強い気持ちで作業に従事して頂き、日々皆さんの帰りを待っている家族のもとへ“笑顔”で帰りましょう。

期間中の現場パトロールへのご協力ありがとうございました!